

資料9. 分野・領域別履修モデル（博士前期課程）

基盤看護学分野履修モデル

例1 基礎看護学領域

	1年次			2年次			
	前期	後期	単位	前期	後期	単位	
専門科目	基礎看護学特論Ⅰ	基礎看護学特論Ⅱ	2				
			2				
	基礎看護学演習 看護学特別研究						4
	計	4	計				12
専門共通科目	看護研究特論	看護政策論 看護研究方法特論	2	看護教育学			
			2				
			2				
			計				6
共通選択科目	統計学特論 医療経済学	保健行動科学特論	2				
			2				
			2				
			計				6
単位	1年次 計			2年次 計			
	合			計			
	16			14			
	30			30			
〔修了後期待される成果〕 社会における看護師の機能について検証し、それを活用して、看護に関する政策立案できる能力を有した看護実践者、研究者、管理者、経営者として活躍する。							

例2 看護管理学領域

	1年次			2年次					
	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
専門科目	看護管理学特論Ⅰ	看護管理学特論Ⅱ	2						
			2						
	看護管理学演習 看護学特別研究						4		
	計	4	計				12		
専門共通科目	看護倫理 看護研究特論 コンサルテーション論 看護理論	看護研究方法特論	2						
			2						
			2						
			2						
計	10	計							
共通選択科目	医療経済学	在宅医療学	2						
			2						
			計				4	計	
			計				4	計	
単位	1年次 計			2年次 計					
	合			計					
	18			12					
	30			30					
〔修了後期待される成果〕 看護現場の問題現象を組織と管理の視点で捉え、研究的アプローチで問題解決に取り組む高度な看護管理の実践力が期待される。修了後は、良質な看護サービスを提供できる組織理念と人的資源の開発ビジョンを有し、看護実践の場における指導者としての役割を担うことができる。									

成熟期看護学分野

例1 成人健康看護学領域

	1年次			2年次		
	前期	後期	単位	前期	後期	単位
専門科目	成人健康看護学特論		2			
	がん看護学特論Ⅰ		2			
	がん看護学特論Ⅱ		2			
		成人健康看護援助論	2			
		成人健康看護援助論演習				4
	看護学特別研究					8
	計			計		
	8			12		
専門共通科目	看護研究特論		2			
	看護理論		2			
	看護倫理		2			
		看護研究方法特論	2			
	計			計		
	8			計		
共通選択科目	統計学特論		2			
	計			計		
	2			計		
単位	1年次 計			2年次 計		
	18			12		
	合			計		
	30			30		
〔修了後期待される成果〕						
成人期にある急性、慢性の健康問題を有する対象者やその家族に対してヘルスケアの確立を行い、健康問題を抱えて生活を再調整し、構築していくための看護援助方法の開発、実践、研究における能力が期待される。修了後は、医療機関等において、成人期にある対象とその家族の健康問題に関わる実践、研究や教育のリーダーとして活躍する。						

例2 がん看護学領域①（研究能力養成コース）

	1年次			2年次		
	前期	後期	単位	前期	後期	単位
専門科目	がん病態生理学		2			
	がん看護学特論Ⅰ		2			
	がん看護援助論Ⅰ		2			
	がん看護学演習Ⅰ		2			
		がん看護援助論Ⅱ	2			
		がん看護学演習Ⅱ	2			
	看護学特別研究					8
	計			計		
	12			8		
専門共通科目	看護倫理		2			
	看護研究特論		2			
	看護理論		2			
		看護研究方法特論	2			
	計			計		
	8			計		
共通選択科目	統計学特論		2			
	計			計		
	2			計		
単位	1年次 計			2年次 計		
	22			8		
	合			計		
	30			30		
〔修了後期待される成果〕						
がん患者および家族の看護援助方法を開発、実践、研究できる能力が期待される。修了後は、医療施設、地域、看護研究・教育施設などにおいて、がん看護領域に関わる実践、教育、研究のリーダーとして活躍する。						

例3 がん看護学領域②（専門看護師養成コース）

	1年次			2年次		
	前期	後期	単位	前期	後期	単位
専門科目	がん病態生理学		2	がん看護学実習Ⅱ		3
	がん看護学特論Ⅰ		2	がん看護学実習Ⅲ		3
	がん看護学特論Ⅱ		2			
	がん看護援助論Ⅰ		2			
	がん看護学演習Ⅰ		2			
		がん看護援助論Ⅱ		2		
	がん看護学演習Ⅱ		2			
	がん看護学実習Ⅰ		4			
	がん看護学課題研究					4
	計			計		
	18			10		
専門共通科目	看護倫理		2			
	看護研究特論		2			
	コンサルテーション論		2			
	看護理論		2			
	フィジカルアセスメント		2			
	病態生理学		2			
	臨床薬理学		2			
	計			計		
	14			計		
共通選択科目						
	計			計		
単位	1年次 計			2年次 計		
	32			10		
	合 計			42		
〔修了後期待される成果〕						
がん看護専門看護師の認定審査を受験するために必要な教育課程であり、修了後は必要な実務経験を追加し、認定試験に合格することによって、がん看護専門看護師の資格を得ることができる。実践の場において、質の高いがん看護を提供するとともに、がん看護を普及し、発展させるリーダーとして活躍する。						

例4 精神健康看護学領域

	1年次			2年次		
	前期	後期	単位	前期	後期	単位
専門科目	精神健康看護学特論		2			
	地域健康看護学特論Ⅰ		2			
		精神健康看護援助論		2		
		精神健康看護援助論演習				4
		看護学特別研究				8
	計			計		
	6			12		
専門共通科目	看護研究特論		2			
	看護倫理		2			
	看護理論		2			
		看護研究方法特論		2		
	計			計		
	8			計		
共通選択科目	統計学特論		2			
		保健行動科学特論		2		
	計			計		
	4			計		
単位	1年次 計			2年次 計		
	18			12		
	合 計			30		
〔修了後期待される成果〕						
メンタルヘルス上の問題を持ち、入院している人、地域で生活する人、施設で生活する人、職場で働く人とその家族に対して、その人の持っている力に着目した看護援助方法を開発、実践、研究できる能力が期待される。修了後は、医療機関や地域において、メンタルヘルス上の問題をもつ人々のリカバリーに関わる実践、研究のリーダーとして活躍する。						

例5 老年健康看護学領域①（研究能力養成コース）

	1年次			2年次			
	前期	後期	単位	前期	後期	単位	
専門科目	老年健康看護学特論Ⅰ		2				
	老年健康看護学特論Ⅱ		2				
		老年健康看護援助論Ⅰ	2				
		老年健康看護学演習Ⅰ	2				
		老年健康看護学演習Ⅱ	2				
	看護学特別研究					8	
			計 10			計 8	
専門共通科目	看護研究特論		2				
	看護倫理		2				
		看護研究方法特論	2				
	看護理論		2				
			計 8			計	
共通選択科目	統計学特論		2				
	社会福祉学特論		2				
			計 4			計	
単位	1年次 計		22	2年次 計		8	
	合 計			計			30
〔修了後期待される成果〕							
<p>老性変化を基盤に発症する疾患や複雑かつ多様な健康障害などを持ちつつ療養生活する高齢者とその家族に対して、健康問題や生活機能障害及び取り巻く環境を総合的にアセスメントし、老年看護学の実践・教育・研究ができる能力を育成する。修了後は、病院・施設・在宅・地域などの老年看護実践の場や、教育・研究機関で高齢者とその家族の健康・生活問題に関わる実践者、教育・研究者のリーダーとして活躍する。</p>							

例6 老年健康看護学領域②（専門看護師養成コース）

	1年次			2年次			
	前期	後期	単位	前期	後期	単位	
専門科目	老年健康看護学特論Ⅰ		2				
	老年健康看護学特論Ⅱ		2				
		老年健康看護援助論Ⅰ	2				
		老年健康看護援助論Ⅱ	2				
		老年健康看護学演習Ⅰ	2				
		老年健康看護学演習Ⅱ	2				
		老年医療学	2	老年健康看護学実習Ⅱ		3	
		老年健康看護学実習Ⅰ	4	老年健康看護学実習Ⅲ		3	
	老年健康看護学課題研究					4	
			計 18			計 10	
専門共通科目	看護研究特論		2				
	コンサルテーション論		2				
	看護倫理		2				
	看護理論		2				
	フィジカルアセスメント		2				
	病態生理学		2				
	臨床薬理学		2				
			計 14			計	
共通選択科目							
			計 0			計	
単位	1年次 計		32	2年次 計		10	
	合 計			計			42
〔修了後期待される成果〕							
<p>老性変化を基盤に発症する疾患や複雑かつ多様な健康障害などを持ちつつ療養生活する高齢者とその家族に対して、健康問題や生活機能障害及び取り巻く環境を総合的にアセスメントし、マネジメント、援助方法の開発・実践、研究、教育ができる能力を育成する。修了後は、病院・施設・在宅等において高齢者とその家族のQOLの向上を目指して、高度な看護実践を提供し、リーダーとして活躍する。</p>							

次世代育成看護学分野履修モデル

例1 母性健康看護学領域

	1年次			2年次		
	前期	後期	単位	前期	後期	単位
専 門 科 目	母性健康看護学特論		2			
	地域健康看護学特論 I		2			
		母性健康看護援助論	2			
		母性健康看護援助論演習				4
		看護学特別研究				8
		計	6		計	12
専 門 共 通 科 目	看護研究特論		2			
	看護倫理	看護研究方法特論	2			
		看護政策論	2			
		計	8			計
共 通 選 択 科 目	人間関係情報処理論		2			
		保健行動科学特論	2			
		計	4			計
単 位	1年次 計			2年次 計		
	合			計		
			18			12
	合			計		
						30
〔修了後期待される成果〕						
性・生殖機能の発達過程における健康問題をもつ女性・パートナー、また変わりゆく周産期医療を受ける女性や家族が、本来もっている健康維持能力を発揮できるように、基本的な理論や実践能力を素地とし、根拠に基づいたケアや情報を提供することができる。また、新たなケアやシステムの構築が期待される。修了後は、助産や周産期の現場、女性医療機関（思春期外来、女性専門外来）や地域保健において、実践、研究、教育のリーダーとして活躍する。						

例2 小児健康看護学領域

	1年次			2年次		
	前期	後期	単位	前期	後期	単位
専 門 科 目	小児健康看護学特論		2			
	在宅健康看護学特論 I		2			
		小児健康看護援助論	2			
		小児健康看護援助論演習				4
		看護学特別研究				8
		計	6		計	12
専 門 共 通 科 目	看護研究特論		2			
	看護倫理	看護研究方法特論	2			
			2			
		計	6			計
共 通 選 択 科 目	人間関係情報処理論		2			
		保健行動科学特論	2			
		在宅医療学	2			
		計	6			計
単 位	1年次 計			2年次 計		
	合			計		
			18			12
	合			計		
						30
〔修了後期待される成果〕						
小児と家族の健康を促進し、またさまざまな健康問題を抱えながら生活している小児と家族については、その問題状況を理論的裏付けに基づいて包括的にアセスメントし、小児と家族の対処を助ける看護援助方法を開発、実践、研究できる能力が期待される。修了後は、小児専門病院や総合病院の小児病棟、小児専門外来等の医療機関や地域の保健・福祉・教育機関など、小児と家族の健康に関わる実践、教育、研究のリーダーとして活躍する。						

広域看護学分野履修モデル

例 1 地域健康看護学領域

	1 年次			2 年次		
	前期	後期	単位	前期	後期	単位
専 門 科 目	地域健康看護学特論 I		2			
	在宅健康看護学特論 I		2			
		地域健康看護学特論 II	2			
						2
						2
						8
			計 6			計 12
専 門 共 通 科 目	看護研究特論		2			
		看護研究方法特論	2			
	看護理論		2			
		看護政策論	2			
			計 8			計
共 通 選 択 科 目	統計学特論		2			
	疫学統計		2			
			計 4			計
単 位	1 年次 計			2 年次 計		
	合			計		
	18			12		
	30			30		
<p>〔修了後期待される成果〕</p> <p>地域看護に関する理論を用いて、地域保健活動や地域住民の健康生活上の課題を分析し、より専門的な地域看護活動を実践できる能力が期待される。修了後は、市町村保健センター、保健所または行政の分野において高度な専門的能力を発揮した活動を推進し、実践、研究、教育のリーダーとして活躍する。</p>						

例 2 在宅健康看護学領域

	1 年次			2 年次		
	前期	後期	単位	前期	後期	単位
専 門 科 目	在宅健康看護学特論 I		2			
		在宅健康看護学特論 II	2			
	看護管理学特論 I		2			
						4
						8
			計 6			計 12
専 門 共 通 科 目	看護研究特論		2			
	コンサルテーション論		2			
		看護研究方法特論	2			
			計 6			計
共 通 選 択 科 目	統計学特論		2			
		在宅医療学	2			
		保健行動科学特論	2			
			計 6			計
単 位	1 年次 計			2 年次 計		
	合			計		
	18			12		
	30			30		
<p>〔修了後期待される成果〕</p> <p>地域療養者およびその家族の持つ複雑な健康課題を包括的に捉え、関連施策の動向を理解し、地域におけるケアシステムを活用したマネジメントと看護援助の実践ができる能力が期待される。地域療養者の QOL の向上を目指した療養生活支援における看護援助を開発できる実践者として、また、地域療養者とその家族の健康課題を科学的に分析し、研究できる能力を有した研究リーダーとして活躍することが期待される。</p>						

例3 災害看護学領域

	1年次			2年次			
	前期	後期	単位	前期	後期	単位	
専門科目	災害看護学特論		2				
	地域健康看護学特論Ⅰ		2				
		災害看護援助論	2				
			災害看護援助論演習 看護学特別研究			4	
		計	6		計	8	
専門共通科目	看護研究特論		2				
	看護倫理		2				
		看護研究方法特論	2				
		看護政策論	2				
		計	8		計		
共通選択科目	統計学特論		2				
		保健行動科学特論	2				
			計	4		計	
単位	1年次 計		18	2年次 計		12	
	合			計			30
<p>〔修了後期待される成果〕</p> <p>災害が人々の健康や社会生活に与える影響，活動現場特性を踏まえ，災害サイクル各期における被災者の健康課題を包括的にアセスメントし，被災者に対する看護援助方法を開発，実践，研究できる能力が期待される。修了後は，医療機関や地域において，災害サイクル各期において，健康問題に関わる実践，研究のリーダーとして活躍する。</p>							